

ジェットスター・ジャパン7月より 成田、関西、福岡、 札幌、沖縄の5都市に就航

- 成田、関西、福岡、札幌、沖縄の5都市へ就航
- 2012年7月運航開始*
- 成田を最初のベースに

ジェットスター・ジャパン株式会社（以下、ジェットスター・ジャパン、代表取締役社長、鈴木みゆき、住所：東京都千代田区一ツ橋）は、2012年7月3日の就航予定日から最初のベースを成田として日本国内線の運航を成田、関西、福岡、札幌、沖縄の5都市に就航することを発表しました。就航ルートや便数などの詳細に関しては、現在最終調整中です。使用機材は、最新鋭のエアバス社製 A320 型機（座席数 180）です。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、以下のように述べています。

「多くの日本のお客様の期待にお応えするため、就航開始時期を7月に早めました。今回就航が決定した各空港には、日本市場でNo.1のLCC航空会社になることを目指している当社のビジネスモデルを深くご理解いただいています。現在各空港とどのように旅客増加を図るかを協議しております。」

売上高においてアジア太平洋地区で最大のLCCであるジェットスターは、従来のフルサービスキャリアーと比べ最大50%安い運賃を提供いたします。LCCとして日本への長距離国際線を最初に就航して以来5年間、日本のお客様に日々価値あるサービスを提供してきました。低運賃を実現することで、新しい旅行の機会や新規顧客を創出し、より多くの皆様方に飛んでもらうことがジェットスターの使命です。低価格設定と新しい機体の定評のあるサービス、日本のお客様のニーズを理解しているキャビンアテンダントで、人気を得ています。

ジェットスターグループCEOのブルース・ブキャナンは次のように述べています。「私共は日本以外の市場での経験で、低価格がどれだけ旅を劇的に身近なものに変えられるかを理解しており、就航開始を7月に早めることが出来たことをとても嬉しく感じています。すでにジェットスターでの旅を多くの日本の皆様に経験していただいています、同様の素晴らし



いサービスを日本国内でもご利用いただけます。これは、ジェットスター・ジャパンの担当チームのこれまでの懸命な努力によるものです。」

ジェットスター・ジャパンの鈴木みゆきは、「国内主要 5 都市に価値ある旅行の選択肢を提供できることを大変光栄に思います。私共の就航により、日本国内でより多くのものを見たり行事に参加したり、また友人や親戚への訪問をより頻繁行う事が可能になります。」と述べています。

ジェットスターのブランド及びビジネスモデルにより、当初 2012 年中に予定していた就航時期を早めることができ、また各空港との協議も順調にすすんでいます。

ジェットスター・ジャパンの客室乗務員職の採用に現在約 9,000 名のプレエントリーがあり、パイロット職へは 500 名を超える応募があります。採用とトレーニングは現在進行中です。

ジェットスター・ジャパンの中国や韓国への国際線も 2013 年中に就航する計画です。

* 注: 現在政府および関係機関の認可待ち

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは、ジェットスターグループ (VIA the Qantas Group)、日本航空株式会社、三菱商事株式会社が出資し設立した会社です。2012 年 7 月より、3 機の A320 型機で日本国内線運航を開始し、その後 3 年間で運航機材を 24 機まで増やす予定です。2012 年 7 月の国内線就航に続き、2013 年中に短・中距離国際線の運航開始を予定しております。